

令和7年9月11日

保護者各位

鳥栖市立旭小学校  
校長 長野 篤志

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

### 1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

令和7年4月17日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

### 2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

#### (1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」については全国平均正答率を下回っており課題が見られました。各学年の漢字を習得し、文の中で正しく使うことができていることがうかがえます。
- ・「話すこと・聞くこと」については全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題」については、全国の平均正答率を大きく下回っており、さらには無解答率も高く課題が見られました。

#### (2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「測定」領域において、「伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する問題」、「はかりの目盛りを読む問題」については全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・「簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶ問題」や「『10%増量』の意味を解釈し、『増量後の量』が『増量前の量』の何倍になっているかを表す問題」については、全国の平均正答率を大きく下回っており課題が見られました。
- ・「分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する問題」については、全国の平均正答率を下回っており、さらには無解答率も高く課題が見られました。

#### (3) 理科について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。

- ・「知識・技能」において、「電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているか見る問題」については、全国の平均正答率を大きく上回っていましたが、「乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いているか見る問題」については、全国の平均正答率を大きく下回っており課題が見られました。
- ・「思考・判断・表現」において、「水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する問題」については、全国の平均正答率を大きく下回っており、さらには無解答率も高く課題が見られました。

### 3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校児童の姿

- ・「朝食は毎日食べています」と回答した割合は92.1ポイント(全国は93.7ポイント)、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した割合は73.6ポイント(全国は81.9ポイント)、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した割合は82.4ポイント(全国は91.0ポイント)となっており、“朝ごはん”の生活習慣はおおむね身に付いていますが、“早寝・早起き”に課題が見られました。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した割合は99.0ポイント(全国は97.2ポイント)、「人が困っているときは進んで助けている」と回答した割合は94.1ポイント(全国は93.7ポイント)となっており、「いじめは絶対に許さない」など相手を思いやる心が育まれていることがうかがえます。
- ・「普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という問いに1時間以上と回答した割合は40.2ポイント(全国は54.0ポイント)、「学校が休みの日に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という問いに1時間以上と回答した割合は40.2ポイント(全国は47.1ポイント)となっており、家庭学習の時間の確保がややできていない傾向にあることが考えられます。
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思います」と回答した割合は93.1ポイント(全国は90.4ポイント)、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思います」と回答した割合は94.1ポイント(全国は91.6ポイント)となっており、学習の有用感を感じて取り組んでいることがうかがえます。

### 4 今後の改善策(児童の力をさらに伸ばすために)

- ・授業のねらいに基づく分かりやすい授業や児童が主体的・対話的に取り組み、自分の考えについて根拠を基に話したり書いたりする活動を取り入れる等の授業改善に取り組みます。
- ・毎週火曜日、朝の時間を「スキルタイム」とし、算数の四則計算を中心に取り組み、基礎基本の定着を図ります。
- ・2学期及び3学期にも「あさひっ子学習の記録(家庭学習調べ)」の期間を設け、自主学習の推進も含めながら家庭学習の定着を図るとともに、家庭学習につながるような授業内容や課題の工夫・改善に取り組みます。

旭小学校教職員全員で児童の実態把握に努め、目指す児童像に向けて共通理解を図り、チームとして一丸となって「確かな学びの積み上げ」に向け努力していきます。

ご家庭でも次のようなことに心掛けてください。

#### 1 家庭での学習環境をつくってください ※「家庭学習の手引き」参照

【学習時間：低学年30分以上、中学年45分以上、高学年60分以上】

##### ◎学習時間の確保と環境づくり

- ・時間を決めて“机に向かう”習慣を身に付けましょう。無理なく継続できる程度で!
- ・落ち着いた静かな環境で学習に取り組みましょう。

##### ◎見届け・励まし

- ・お子様が学習したことに目を通し、褒めたり励ましたりしてください。

#### 2 生活のリズムを整えてください

##### ◎早寝・早起き・朝ごはん

- ・早めに就寝・起床させ、必ず「朝食」を食べるようにしましょう。